

東京聖栄大学

後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

学長挨拶

理事長・学長 田所 忠弘

◆社会で求められる「食」専門家を目指す◆



日頃より後援会の絶大な御支援を頂戴致しながら大学運営や学生教育に尽力させて頂いております。現状況下、全国各私立

大学とも教育とコロナ防止策に大変四苦八苦されているようです。四年次生は令和四年二月二十七日第三十六回の管理栄養士国家試験合格を目指しメガダツシユ中でありますが、全員揃ってメガからギガへのギヤチェンジに期待を高めたいと思います。さて、ネット上では健

康と食品を巡る多くの話題で持ち切り状態が続き、さらにコロナ禍の縁で家庭食での工夫にも一層拍車がかかって、食への関心度が高まったことは食を専門とする本大学にとっても予想外に注目されることとなりうれしい限りです。安心、安全の上にも美味しく、かつ健康の保持に満足のゆく食品や食事ものを一般の喫食者方にどう提供するのかが、食品開発、栄養指導など実践的食の専門家としての知識や技術・技能などを高め社会へ貢献でき得る実力を蓄えた人物として巣立って頂けるようその教育内容充実に一層の力を傾注致したいと思えます。

会長挨拶

後援会会長 笛木 敦



会員の皆様には、日頃から後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本年度、東京聖栄大学後援会

会長を務めさせて頂き、ありがとうございます。さて、今年三月に、東京聖栄大学で学んだ学生達が、卒業し「栄養と食」のスペシャリストとして社会へと旅立ちました。四月には希望に満ちた新入生が入学し、東京聖栄大学の一員として、大学生活のスタートを切りました。「栄養と食」は、生活をする上で誰もが必要不可欠なものであり、健康作りへと繋がっております。また、食を通して、人々

へ「喜びや希望、楽しさ」を与えることができ、限らない可能性を秘めていると日々感じております。東京聖栄大学では、実習・研究・講義といった様々な形態で、「栄養と食」について専念して学ぶことができる環境が整備されており、皆様のご意見をいただきながら、より良い会の運営に努めて参ります。引き続き後援会へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総会・役員会報告

●三月役員会報告

二月二十七日(土)に役員会全体会がオンライン(ZOOM)により開催されました。

先ず、令和二年度事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果同報告は承認されました。引続き、令和三年度事業計画案同予算案を審議、夫々承認されました。

さらに、進級する役員の方の三年度留任並びに会長・副会長・会計・会計監査(四役員)候補者が決定されました。

その後、総会開催について検討がなされ、入学式が学生と大卒教職員のみによる挙行となることから、集合型の総会開催とせず、新入生保護者には総会資料を送付し、二年次以上の保護者には大学ホームページ掲載により、議案の承認をしていただく電子承認手続きをすることを決定しました。

●後援会総会議案の電子承認

四月一日(木)に予定されていた後援会総会は、集合型とせず電子承認手続きとしました。

四月初旬に総会資料を新入生保護者に郵送し、同時に大学の「保護者の方」ホームページに総会資料を掲載しました。

議案賛否申出期限の四月末までに特段の意見はなく、前年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告、本年度事業計画案、同予算案が夫々承認されま

した。また、役員選出については、会長に笛木敦氏、副会長に高島眞一氏、川嶋秀久氏など会計及び会計監査を含めた後援会四役員及び新入生の保護者の候補者も提案通り夫々選任されました。決定事項は本学ホームページに掲載しています。

●六月オンライン役員会報告

後援会四役員協議により、新型コロナウイルスの感染拡大等を踏まえ、六月の役員会は、オンライン(ZOOM)による開催となりました。

令和三年度役員及び後援会総会議案の承認についての報告の後、後援会会報発行について原案通り承認されました。続いて、秋に開催予定の保護者会についての審議がなされ、今年度も新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、集合型の開催は難しいとの認識で一致しました。

大学より、保護者会に代わり、昨年度と同様に希望する保護者には、学年担任との個別相談を電話またはオンラインにより行うことを予定しているとの報告がされました。

大学報告では、学部長より新型コロナウイルス感染症に係る大学の対応等についての説明後、両学科長から詳細な学事報告がなされました。オンラインによる役員会開催となりましたが、役員の方からも活発な発言がなされ和やかに会は終了しました。

管理栄養学科

コロナに負けない学び

管理栄養学科長 宮内 眞弓



新型コロナウイルスの感染がまだまだ続いており、保護者の皆様にとっても心配な日々が続いているかと思えます。管理栄養学科では、授業以外に臨地実習などの学外で学ぶ機会が多く、後期の授業方法もオンラインと対面を併用して、学生の安全に配慮しながら行っております。四年次生は夏休みの学習成果を試す模試が行われます。模試を通し自分の学習成果を確認し追い込みに入る時期となりますので、教員が学生の相談に乗りながら指導をしていきます。また、これからの時期は体調管理が今まで以上に重要になります。三食の食事、早寝早起き等、試験時間に合わせた生活を心がけていただければと思いますので、ご家庭でのご協力もお願い致します。

三年次生は現在も事業所の臨地実習を行っています。オンラインピクやコロナ感染の影響で実習先が変更、期間短縮になるなど実習が思うように進まず不安に思う学生も多くいるかと思えます。しかし、これらの困難や混乱を上手に乗り切ることで栄養士としての大きな成長がみられます。臨機応変に対応することも学べたのではないのでしょうか。一年次生、二年次生は対面授業が少なく友達との関係づくりがなかなか難しいと思われるかもしれませんが、実験・実習等対面授業でコミュニケーションをとれるよう工夫して行きたいと考えております。これからの社会では対面だけでなくオンラインでのコミュニケーションも重要な方法の一つになってくるであろうと思えます。



臨地実習委員
(撮影の為マスクを外しています)

学友会活動報告

学友会会長挨拶



管理栄養学科
3年次生
佐藤 里彩

今年度学友会会長に就任いたしました管理栄養学科の佐藤里彩です。新型コロナウイルス感染症拡大が若年層を中心に増加する中、昨年と同じく対面での授業や実験実習とオンラインでの授業を併用する形で新年度がスタートとなりました。

新入生歓迎会や聖栄葛飾祭をはじめとする学友会主催の行事も中止となり、私たちが初めて経験する困難としての緊急事態宣言への各地域の対応等の情報を通して、新しい時代に向かって、私たちがこれからの社会の構成員として、何を学び何をしなければならぬかを深く考えることができました。残された時間を有効に使い現実を見据えながら一日も早くキャンパスに活気を取り戻すためにも、役員一同励んでまいります。今後とも後援会の皆様のご支援、ご協力によるしくお願い申し上げます。

学生支援センター

就職支援・就職状況

本学の就職支援は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により行っています。また、就職支援アドバイザー二名を配置し、個別にオンラインや対面での面談を実施するなどの状況に応じて就職相談の体制を整えております。

● 四年次生の就職内定状況

(株)リクルートキャリア等の就職情報会社によると、二〇二二年三月卒業予定の大学生・大学院生対象の大卒求人倍率は一・五〇倍(前年一・五三倍)とあります。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大による経済停滞により、倍率は十年ぶりに〇・三ポイント下落しました。今年は微減したものの一・五倍台を維持し、底堅い結果となりました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、採用活動のWEB化が進むなど、学生は多様な採用選考に対応することが重要となりました。

さて、本学の四年次生の就職内定状況(十月三十一日現在)は、学部合計で七三・九%であり、学科別としては、管理栄養学科が八二・九%、食品学科が六三・六%です。今後も就職未

内定の学生に対し、継続して個別に就職支援を行ってまいりますので、関係者の皆様のご協力をお願い致します。

● 一〜三年次生向け支援

学生支援センターでは、学生一人ひとりに寄り添った就職支援を行っています。

就職活動が本格化する前の、一・二一年次生対象に就職専門業者によるキャリアガイダンスを実施し職業意識をより向上させるように指導しております。

三年次生向けには、WEBツールを用いた選考やオンラインでの面接を行う企業が増えてきているため、WEB選考のマナー対策動画を配信するなど行っております。また、オンラインディスカッション対策講座やオンライン学内業界説明会など多様化する就職採用活動に対応すべく様々なイベントを予定しております。

公務員希望者に対しては、公務員教養試験対策講座や論文対策講座をオンデマンド形式で実施するなど、自宅でも試験対策が進められるよう工夫しております。

積極的に就職対策に関するガイダンスや講座等に参加し、最新情報を収集して自身の就職活動に活かしてほしいと思います。就職支援にあたり、関係者の皆様のご協力をお願い致します。

食品学科

Withコロナと食品学科

食品学科長 北村 義明



本稿の執筆時点ではCOVID-19の東京都の感染者数は第五波以前のレベルまで下がり、このまま収束することを祈るばかりですが、より大きな第六波の到来も予測されています。これに備えて、本学でもマイクロ飛沫の飛散防止を始めとした、更なる感染防止への取り組みを進めてまいります。

食品学科では、例年実施している入学時研修、一年次冬の市場見学、二年次夏のフィールド研修、そして全学年対象の海外研修等、宿泊を伴う研修を中止・延期せざるを得なくなりました。市場見学については、現一年次生は、再来年には新型コロナウイルスも落ち着くことを期待して、二年次冬実施に延期としました。これら宿泊研修は、農業体験、市場・工場見学といった

フードチェーンの川上から川下までの現場に接し、今後の就職や、人生設計にとって貴重な経験となるものであり、学科の学びの中でも重要なものとして、実施可能となれば直ちに再開したいと考えております。

また、就職活動に直結する正規授業としての「インターンシップ」もあります。食品関係企業や保健所等にご協力いただき、各業務を実体験させていただくとともに、報告書の作成力やプレゼンテーション力、コミュニケーション力、社会人としての常識を学ぶことで、就職活動に備えるものです。緊急事態宣言が繰り返され発令される中、この二年間中止せざるを得なくなっていますが、来年度こそ再開できることを祈っております。

このような中、食品学科の学びの集大成である卒業研究・卒業制作については、研究室内にも飛沫防止パーティションを設置するなど感染防止の努力を続けながら、積極的に研究に取り組んでもらっています。昨年度は、発表会を各研究室の分散型で実施するとともに、全員が成果をポスターとしてまとめました。ポスターは一定期間掲示

して、同級生、下級生が興味深く閲覧しておりました。本年度も、引き続きこれらの取り組みは続けていきたいと考えています。



令和2年度卒業論文ポスター

各種奨学金等の制度

● 本学独自の授業料等減免

本学独自の経済支援制度として新型コロナウイルス感染症の直接的・間接的な影響で、家計が急変した世帯や経済的困窮した学生に対して授業料等の減免を行いました。

● 日本学生支援機構奨学金制度 (貸与型・給付型)

日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲があり、経済的理由により修学に困難がある学修意欲の高い学生に対し、教育を受ける機会を保障する、国が実施している制度です。本制度の利用期間は、正規の修業年限(四年)に限られ、学業成績が不振になると途中で打ち切られる場合もあります。また、本奨学金制度を利用する際に、「学業基準」及び「家計基準」の条件を全て満たす必要があります。

● 高等教育の修学支援新制度

高等教育の修学支援新制度は、文部科学省による大学等の高等教育における「授業料や入学金の減免」及び「給付型奨学金」(日本学生支援機構)による制度として令和二年四月から始まりました。

本学は、文部科学省から高等教育の修学支援新制度の支援対象校として認定され、「授業料・入学金の一部減免と給付型奨学金」により、意欲ある学生のみならず「学び」の支援を行って

おります。

修学支援新制度における申請は、春期と秋期に行っており、給付型奨学金「日本学生支援機構」、授業料等の減免「大学(本学)」夫々に手続きが必要です。修学支援新制度や日本学生支援機構奨学金制度に関する内容や申請方法等につきましては、

学生支援センターまでお問合せください。

また、本制度に関する詳細等は文部科学省及び日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

各種ホームページのQRコード



日本学生支援機構 給付型奨学金

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>



文部科学省 修学支援新制度

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

管理栄養学科担任紹介

一年担任
教授 風見 公子



一年副担任
准教授 佐藤ひろ子



二年担任
教授 小林 陽子



二年副担任
講師 吉田真知子



三年担任
教授 宮内 眞弓



三年副担任
講師 田中 広美



四年担任
准教授 大塚 静子



四年副担任
膳法 浩史
講師



食品学科担任紹介

一年担任
准教授 吉田 光一



一年副担任
講師 篠原 優子



二年担任
教授 谷本 守正



二年副担任
講師 山本 直子



三年担任
教授 片山 佳子



三年副担任
准教授 福留 奈美



四年担任
教授 福田 亨



四年副担任
助教 折口いづみ



後援会の寄贈

後援会では、学生全員が健全かつ有意義な大学生活を送れるよう毎年度、様々な寄贈を行っています。

●学生活動支援（学友会）関係
学生への活動支援として、学友会が使用するパソコン一台を購入し、学友会活動が学友会総会等を初めとする学友会が主催とする行事計画を円滑かつ有意義に活用することに努めています。また、学生の意見を取り入れ、学生がいつでも利用できるトレーニング機器を購入し、部・同好会等を含めた全学生が有効に活動できる環境への充実を図っています。

●就職支援関係
就職支援として、学生が客観

令和3年度後援会役員紹介

会長	4FB	笛木 敦一
副会長	3NB	高島 眞一
副会長	2NA	川嶋 秀久
会計	4NB	中野 勝子
会計	4FA	尾籠 宏美
会計監査	4FA	甲斐 晃子
会計監査	4FA	志賀 恵子
会計監査	3NB	増田 恵子
役員	4FB	福井 正文
役員	3NA	鈴木 美保
役員	3NB	晦日 美絵
役員	3FB	藤平 佳代子
役員	3FB	横田 啓子
役員	2NA	加藤 正
役員	2NA	小林 由美
役員	2NA	高橋 和江
役員	2NB	左 倫好
役員	2NB	矢留 暁子
役員	2FA	飯塚 真由
役員	1NA	石垣 由美子
役員	1NB	鈴木 英明
役員	1FA	齋藤 美幸
役員	1FA	須藤 直子



就職関連書籍（学生支援センター）

的に自分自身を知るためのアセスメントテストの受検料補助や就職関連の図書の実費を回りSPI対策や公務員試験対策の書籍など学生に広く利用されています。

今後も、学生が有意義に学生活動できる環境の充実を図る為、支援を行います。



運動部が使用するトレーニング機器（わたなべ記念館）



学友会が使用するPC（学友会室）